



ねんりんピックいよいよ開幕! 168チーム1,069選手が、 ゲートボール発祥の地“めむろ”に集結。

第22回全国健康福祉祭 北海道・札幌大会
ねんりんピック北海道・札幌2009

大会マスコットキャラクター **うっさん**
「ナキウサギ」をモチーフにした“うっさん”。
3,000点の公募の中から選ばれました。

ねんりんピックとは、厚生労働省、(財)長寿社会開発センターと開催地が主催する、60歳以上の高齢者を中心としたスポーツ、文化、健康と福祉など、幅広いイベントが開催される一大祭典。道内16の市町で、21種目の交流大会が開催されます。

9月5日(土)～7日(月)

芽室南運動公園(健康プラザ南側グラウンド)

5日(土)	16:00	歓迎レセプション(芽室産食材で選手たちを歓迎します。)
6日(日)	9:15	開始セレモニー(始球式など)
	9:45～16:40	予選リーグ
7日(月)	9:00～12:50	決勝トーナメント
	13:20～14:00	表彰式(健康プラザ内で実施)

芽室町から参加の「芽室北の大地」

「ねんりんピック大会のために結成したチームです。普段は別々のチームで活動していますが、大会までにチームワークを高めて、一つでも多く勝ち上がりたいですね。全国から集まる各チームと対戦できるのが、今から楽しみです」(阿部主将)



前列左から伊藤怜子、坂東鈴子、久保順子 後列左から金子勉、阿部正雄主将、坂東義幸(敬称略)

“うっさん”の主な活動

- ▶21.2.14 氷灯夜の会場に登場
これが芽室町内、初お目見え(右)
- ▼21.7.12 イリス・フェスタ会場では、小さなお子さんに大人気!(下段左)
- ▲21.7.26 第26回商工夏まつりでは、特製うちわとティッシュを配布!(下段右)



■ゲートボールの誕生

芽室町で代用パンを焼いていた鈴木栄治氏(後に和伸と改名)は、戦後の混乱の中で満足な遊び道具がない子どもたちのために「何か健全な遊び道具をつくろう」と考え続けていた。

汽車の窓からボンヤリと外を眺めていた栄治氏の目に、保線区員(線路を整備する人)が肩に担いでいる「つるはし」が映り、札幌憲兵隊で戦後処理の任務についていたときに見たクロッカーを思い出した。

「よし、これだ！」

栄治氏の心にひらめくものがあった。当時の記憶を辿りながら、スティック(当初、バットと名付けた)とボールを作り、1チーム5人で対戦するスポーツを考案し「ゲートボール」と名付けた。ルールは、近くの広場に子どもたちを集めて遊びながら腹案に少しずつ工夫を加えた。

昭和22年、十勝平野に馬鈴薯の花が咲き誇る頃、芽室町でゲートボールは産声(うぶごえ)をあげた。



創始者 鈴木和伸氏



ゲートボール発祥の地碑